

## 令和7年度 総括と自己評価

以下の項目で総括を行い、4段階の自己評価を行った。

A：達成できた / B：おおむね達成できた / C：少し達成には届かなかった  
D：達成できず課題が残った

### 1. 園児の獲得

(過去10年間の4月園児数)

|     | H28 | H29 | H30 | H31 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 3歳児 | 33  | 32  | 32  | 29  | 32 | 32 | 26 | 21 | 15 | 17 |
| 4歳児 | 25  | 25  | 30  | 32  | 32 | 30 | 31 | 27 | 21 | 14 |
| 5歳児 | 22  | 26  | 23  | 28  | 31 | 32 | 31 | 30 | 26 | 22 |
| 合計  | 80  | 83  | 85  | 89  | 95 | 94 | 88 | 78 | 62 | 53 |

(R8年度園児数見込み)

|            | 2歳児・満3歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 3歳以上 |
|------------|----------|-----|-----|-----|------|
| R7年度(4月)   | 0(13)    | 17  | 14  | 22  | 53   |
| R8年度(4月見込) | 0(10)    | 26  | 18  | 13  | 57   |

〈自己評価：B〉

- 令和4年度より新入园児が定員(30名)を割り、厳しい状況が続いているが、R7年度の3歳児入园者数及び令和8年度3歳児入园者数(見込)は伸びてきている。
- 特にR8年度3歳児については26名(定員23名)となり、園児獲得に向けての取組に一定の効果があつた。

### 2. 主な取組について

令和7年度は以下の4項目を重点事項として取り組んだ。

〈令和7年度 重点事項〉

- (1) 幼稚園型認定こども園化に向けて準備を行う
- (2) 保護者ニーズへの対応と積極的な広報活動を行い、園児の獲得を目指す
- (3) 選ばれる園となるための特色を打ち出す
- (4) 経費削減と効率的な園経営を行う

### (1) 幼稚園型認定こども園化に向けての準備について

- ・ 認定こども園への移行の要望書を奈良市に提出し、移行手続き・必要書類等の作成について奈良市と協議・調整を行っている。
- ・ 幼児教育プロジェクト会議を設置し、認定こども園移行に伴い3園で共通理解を図ること等、整理を行っている。(幼稚園・こども園・保育園・学院・事務局)
- ・ 令和9年度に認定こども園に移行していくことを在園児・新入園児保護者に説明し、奈良市の子育て層に周知した。
  - 1月19日 在園児保護者説明会(現3歳児・4歳児保護者)
  - 1月31日 R8年度3歳児クラス入園児保護者
  - 2月2日 R8年度2歳児満3歳児クラス入級児保護者
  - 2月25日(発行予定) 地域情報誌『ことま』で発信

#### 〈自己評価：A〉

- 奈良市への要望書の提出、及びR8年度奈良市予算への工事費計上が行われた。
- 学園内にプロジェクト会議を設置し、必要事項の協議を行うとともに保護者への説明会も実施し、遺漏なく準備を行うことができている。

### (2) 保護者ニーズへの対応と積極的な広報活動、園児獲得について

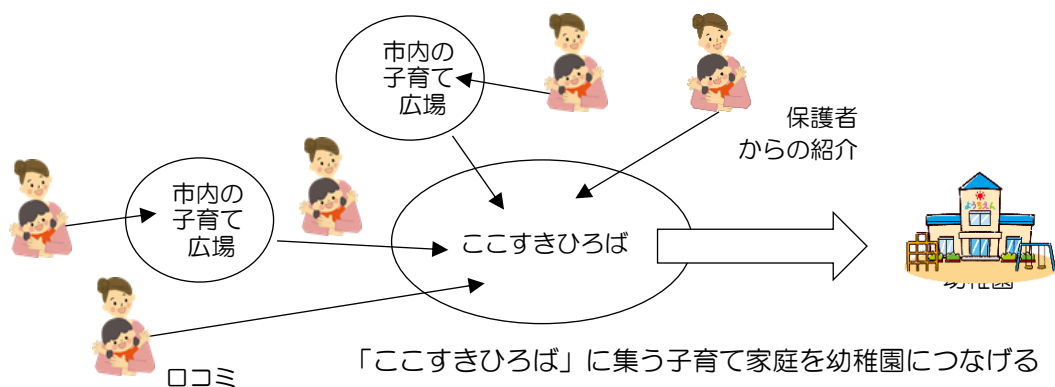
- ・ 2歳児・満3歳児クラスは年度当初13名でスタートしたが、1月末現在で23名となり、R8年度の3歳入園児の獲得につながった。

(2歳児・満3歳児クラス 園児数の推移)

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 現在 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 13 | 14 | 15 | 16 |    | 20 | 23 |

※ 園児募集期間(4月～7月)に微増で推移したが、7月末～8月の入園面接・合格通知を境にして急増となった。

- ・ 「ここすきひろば」と連携し、積極的な園児獲得を目指した。



（来室家庭数と新規登録者数の推移）

|        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月 | 合計  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 来室家庭数  | 6.0 | 5.2 | 5.1 | 5.5 | 5.3 | 8.0 | 7.0 | 5.1 | 8.2 | 8.9 | 5.1 |    | 6.3 |
| 新規登録者数 | 5   | 3   | 5   | 10  | 5   | 14  | 3   | 3   | 4   | 6   | 3   |    | 61  |

〈自己評価：A〉

- 新規登録者数 KPI 年間 60 人（月平均 5 人）を 3 月中旬に達成できた。
- 令和 8 年度新入園児 26 名中 7 名が「ここすきひろば」に来室したのち 3 歳入園につながった（うち 2 名は体験保育と同時期に来室）

（3）選ばれる園となるための特色を打ち出す

- ・ 9 月より未就園児保護者 7 名にインタビューを行い、保護者のインサイトをもとに園のコンセプトを作成

〈基本方針〉 「体験を提供する園」から「体験が探究となる園」に  
 〈ブランドコンセプト〉 「探究が日常的に育つ園に」を中核に据える

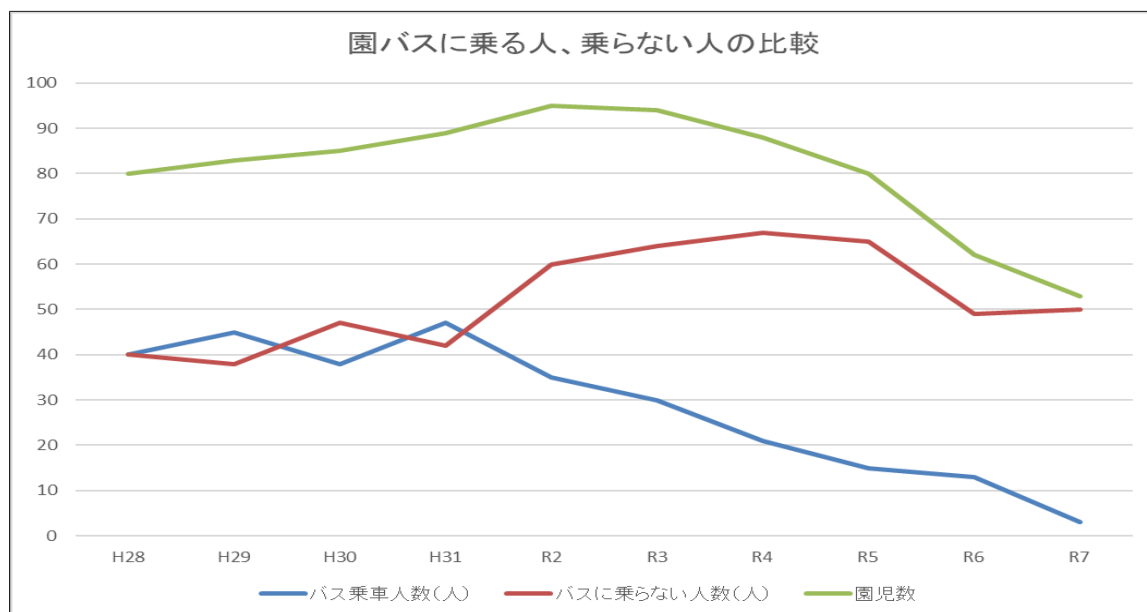
※ 「探究」の内容やカリキュラム等については保育学院の協力も得ながら作成していく。

〈自己評価：C〉

- 4 月から重ねて議論をしてきたが「打ち出す」には至らなかった。
- 保護者インタビューの結果を踏まえ基本方針等の柱は固まってきた。令和 8 年度はローマップを作成して実行に移していく。

（4）経費削減と効率的な園経営を行う

（参考：送迎バスの利用者数と全体の園児数の推移）



- ・今年度はバス 1 台での送迎に切り替え、次年度以降は幼児バスの送迎利用を廃止し経費の削減を図った。

| 年度      | バスの台数 | 送迎人数     | 予算       |
|---------|-------|----------|----------|
| 令和 6 年度 | 2 台   | 12 人     | 約 700 万円 |
| 令和 7 年度 | 1 台   | 3 人      | 約 400 万円 |
| 令和 8 年度 | 1 台   | なし（送迎廃止） | 約 230 万円 |

※ 幼児バスは園外活動での利用にシフトして活用する。

〈自己評価：A〉

- 令和 7 年度は送迎バスを 1 台にし、令和 8 年度は廃止することで大きな経費の削減を図ることができた。
- また、園児募集のエンジンを〈送迎バスがあることの魅力〉から〈教育の中身・園の雰囲気の魅力〉にシフトすることで新入园児が集まり始めている。

### 3. 保護者アンケートについて

※ 詳しくは別添資料「令和 7 年度 保護者アンケートの結果について」を参照